

「つくばね学」とは

本校では、地域とともにある学校づくりを目標に、次世代を担う人材育成に努めており、平成28年度からは、県内でも例を見ない体験的地域学である「つくばね学」を実施しています。「つくばね学」では、2年生から3年生にかけて、毎週金曜日の午後に、学校周辺の幼稚園・保育所・学校・特別養護老人ホーム・文化財保護団体などの各施設で1年間にわたる実習を行っています。

「つくばね学」の目指すものとは ～地域に支えられ 地域を支える高校生の育成～

- 社会性やコミュニケーション能力をはじめとする「人間力」の向上
- 地域に対する理解を深め、郷土を愛する心を育成
- 他人、社会、自然環境との関係性を認識し「かかわり」「つながり」を尊重する態度を育成
- 持続可能な社会が実現できるような価値観と態度を育成
- 新学習指導要領でも「社会に開かれた教育課程」として位置づけられている「地域の教育資源」を積極的に活用

さらに、「つくばね学」を充実させるため、筑波学院大学と連携して大学の講義を受ける講座を設けました。地域社会だけでなく、研究学園都市つくばとの「つながり」を深めていきます。

TSUKUBANEGAKU PROJECT



その他の実習先

- ・近隣保育所
- ・あおやま薬局
- ・つくば総合福祉センター
- ・松屋製麺所
- ・筑波交流センター
- ・小田地域まちづくり振興会